

在仏日本人会
会報
2022年
9月・10月号

Journal Japon

Save the date!

Fête du Japon <希望祭> は**10月9日 (日)** 開催です

2019年を最後にコロナのために開催中止を余儀なくされていた日本人会の年に一度のお祭り「希望祭」が今年、名前も新たに「Fête du Japon <希望祭>」として帰ってまいります。開催は秋祭りの季節、秋も深まる10月9日(日)!

日本食屋台あり、お買い得なフリーマーケットあり、お子様が遊べるスタンドあり、パフォーマンスありで美味しく楽しい1日になること間違いなし。出店スタンドはサイトにアップしております。以下のリンクからご覧下さい。

<https://zaifutsunihonjinkai.fr/activities/kibousai/>

もちろん日本人会の会員でない方もご参加大歓迎です。お友達、お知り合いお誘い合わせの上、ご参加をご予定くださいますようお願いいたします。

■Fête du Japon <希望祭>

日時：10月9日(日)11h~16h

会場：パリ大学都市日本館

7, Bd. Jourdan 75014 Paris

主催：在仏日本人会、日本トランスユーロ

協力：パリ国際大学都市日本館

■協力企業：Ajinomoto Europe、All Nippon Airways、Carré Pain De Mie、Japan Airlines、Nippon Euromovers、Toraya France、Yodoya (ABC順)

■企業、ボランティアなどのご参加及びお問い合わせには、日本祭実行委員会の下記のアドレスにメールをお送りください。fetedujapon@nihonjinkai.fr

■車で、パリ国際大学都市構内に入ることはできませんので、下記のパーキングをお使いください。

アクセス：7h45~22h

Parking Public Charléty Coubertin (Charléty Coubertin競技場地下)

17 Av. Pierre de Coubertin, 75013 Paris

Tél. : 0145652561 Mail : charlety-coubertin@saemes.fr

<http://www.saemes.fr/fr/parking/parking-charlety-coubertin>

パーキングを出て通りを横断すると歩行者用の構内への入口があります。



写真は2019年の希望祭より

ZOOM会議 **要予約**

▶新生活をはじめられる方

▶ご帰国の方

**Welcome
セミナー**

引越セミナー

10月13日(木)
10~12時

10月18日(火)
10~12時

至れり尽くせりのお引越
日本トランスユーロ
transeuro.jp

☎ 01-4058-1000
✉ sales@transeuro.jp



期間限定▶10・11・12月

**断捨離3M³
お手伝いパック**

モノが捨てられない、
要らないものに埋もれた生活、
トランスユーロが処分をお手伝い!

パリ市内・近郊
480€ 税込



特集

フランスにおける妊娠・出産体験

川崎 梓

私は日本で助産師として東京の病院で勤務しておりました。その関係もあり、三年間のフランス生活において、10名近くの方の産院や小児科医を探すなどのお手伝いをしました。皆様が困っていらっしゃる一番の理由が情報不足です。私自身、フランスで妊娠・出産を経験しましたが、夫の駐在にあたって配布された赴任の手引きでも、事前の配偶者研修でもこれに関する情報は得られず、正直なところ不安でした。そういった情報がないのは、在任中に産に至るケースが多くないためかもしれませんが、フランスでも日本と同様に妊娠初期に産院を探す必要があります。病院によっては人気があるために妊娠判明後すぐに分娩予約しなくてはいけないところもあります。アメリカンホスピタルは出産を常時受け入れていますが、金銭面で苦労された方や転院を余儀なくされた方もいらっしゃいました。

妊娠初期の著しい体調変化の中、そして海外生活というストレスのかかる状況下で自力での情報収集は非常に困難です。産院の選択に当たって最も知りたいことは、経験者からの情報だと思います。分娩経験は女性にとっても、家族にとっても、その後の子育てにおいても、とても重要なものです。

そこで、今回7名から妊娠・出産体験を伺い、取りまとめました。また、1名の方は産後すぐという状況下にもかかわらず写真提供にご協力くださいました。

異国の地で安心してライフステージの変化へ適応できるためには、適切な情報を得ることが不可欠です。帰国に当たって、今後フランスでの出産を考える方に少しでも役立つ情報を提供したいという思いを形にたく、出産経験者の温かい御協力の下、今回、とりまとめさせていただきました。こうした情報を参考に、皆様が納得のいく選択ができる一助となれば幸いです。

日本人女性がパリ及びパリ近郊で出産する際に候補としてよく挙がる産院のうち4つの産院でそれぞれ出産を経験された方と、自宅出産を選択した方の体験記を以下のとおり御紹介いたします。これらは2019年～2021年の間における体験記であり、最後の医療者に関する掲載情報は2022年3月時点で確認できているものを載せています。その後、営業状況や分娩施設の情報などに変更がある場合もありますので、御自身で必ず最新の情報にアクセスされるようお願いいたします。また、あくまでも一個人の体験ですので、皆様自身がどうされたいかというところをよく考えていただき、最新の情報や専門家の意見もふまえて、検討、判断していただければと思います。なお追記、修正依頼等に関しましてはご連絡いただけますと幸いです。

今回ご協力いただきました皆様に感謝申し上げるとともに、お一人でも多くの妊婦さんと御家族が安心してパリもしくはフランスで出産、そして子育てができることを願っております。

【フランスでの出産】

●妊娠の可能性があると分かった場合、基本的にはかかりつけの婦人科医(又は家庭医)で受診し、妊娠証明をもらう。妊娠判定後、産婦人科専門医(※)での受診を予約し、妊婦健診を受ける。中には、初診は妊娠12週になってからという医師もいる。週数の数え方、予定日の算出方法及び妊娠週数の表記の仕方は日本と異なる場合があるため、確認が必要である。その後、妊娠後期になると産院での健診になる。また、加入している保険により妊娠の届け出の必要性の有無など違いがあるため確認が必要である。

(※)フランスでは、かかりつけ医という制度的背景から、個人で開業する産婦人科専門医(分娩施設を持たない)が多い。最初から産院での受診を希望する場合は、産科専門病院に所属する産婦人科専門医を受診する必要がある。開業医の中には、産院所属の医師が自身でキャビネ(日本でいう入院施設をもたない開業医に相当)を開業している場合もある。

●妊婦健診は原則として月に1回、エコーは3回。母児の状態に応じて増減あり。開業医の中には自施設に超音波機器を持っていない方も多く、エコーは医師から処方せんを受け取り、エコー専門施設において実施することができる。採血や検査も同様で、ラボラトリー(市中の検査業者や提携病院の検査センターの意味)で実施する。それらの予約は(医師を通じてではなく)自分自身で直接行く必要がある。

- 出生前診断を行うことが主流。初期のエコーにおいて、NT(胎児頸部の厚さ)を確認し、母体血清マーカーと合わせて染色体異常の確率を計算する(日本でいうクアトロテスト)。その後医師が必要と判断した場合は精密検査を行うこともある。フランスの保険に加入している場合は、医師の指示があれば保険適用。
- 無痛分娩が主流であるが、近年自然分娩の良さも少しずつ見直されてきている。自然分娩を希望する場合は初回の健診時からその旨を医師もしくは助産師に伝え、バースプランとして入院時に提出することを勧める。麻酔科医と必ず事前に面談し、禁忌事項への該当の有無を確認する必要がある。フランスの産院では、基本的には昼夜問わず無痛分娩用の局所麻酔を開始することが可能。
- 入院期間は日本(経陰分娩は産後5日程度、帝王切開は1週間程度)より短く、産後72時間で退院というところも少なくない(帝王切開は術後状態によるが数日延長される)。
- フランスの多くの分娩施設が産後すぐより母児同室。
- フランスの健康保険(Sécurité Sociale: セキュリテ・ソシアル)に加入していれば一部費用を除き保険でカバーされるが、在外公館員の家族は同保険に加入していない(日本の共済組合に加入している)ので、現金又は小切手により一定額を前納することが求められる。
- 異常がなければ助産師がメインにお産介助を行う。フランスでは助産師が裂傷の縫合もできる。
- 産後の健診は産院ではなくかかりつけ医で行われることが多い。また、小児科主治医を自分自身で探す必要がある。PMI(Protection Maternelle et Infantile: 日本でいう地域の保健センター)でも予防接種や子育て相談、母乳相談、産後の母子の健診が内容によっては無料で受けられる。
- 日本とは異なり、ペリネ(骨盤底筋群)の産後ケアに力を入れている。
- フランスの保険に加入している場合、下記の5項目が保険適用される。

<https://www.ameli.fr/paris/medecin/sante-prevention/suivi-orientation-femme-enceinte-0>

- 7回の定期検診 + 血液検査
- 12・22・32週目のエコー、最初の2回は70%、最後の1回は100%保険適用。その他追加されるエコーでも、処方箋があれば保険適用される。エコー助産師、又は国立病院で行うエコーは保険適用され、私立病院や産婦人科医のキャビネで行われるエコーは保険でカバーできないことが多いため確認が必要。doctolibなどのサイトで sage-femme échographiste と検索するとエコー助産師を見つることができる。助産師と医師はどちらも同じエコー資格。
- 4ヶ月目辺りで行う助産師、又は産婦人科医と1時間程度のディスカッション(出産プロジェクトの相談など)。母親学級とは別。
- 7回の母親・両親学級
- 4ヶ月目から、歯科検診1回と6ヶ月目からの医師・助産師に処方された検査や薬局の処方箋(着圧タイツなど)は100%保険適用される。

妊娠・出産体験を伺い、取りまとめました具体的な産院情報は、日本人会サイトの以下のリンクからご覧いただけます。

産院は、パリ・アメリカンホスピタル、サントフェリシテ・カトリック産院、キャトル・ヴィル総合病院、クロワ・サン・シモン病院の情報となります。また、自宅出産に関する体験談や出産者が利用したその他の施設や妊娠出産におけるケアの受けられる施設も掲載しております。

https://zaifutsunihonjinkai.fr/wp-content/uploads/2022/06/OK_azusa_kawasaki_3.pdf

川崎 梓

看護師・助産師・保健師 国際インファントマッサージ協会 (IAIM) インストラクター

日本の大学病院で看護師(混合外科)、助産師(産婦人科)として延べ9年間勤務した後、夫の転勤で渡仏し3年間パリで生活。パリ在住中は、健康サポートの会に所属し活動しながら、助産師としては子育てや母乳相談や両親学級、子育てサロン運営のお手伝いと、インファントマッサージ教室を開くなどを行いました。また、私自身、たくさんの人との出会いに助けられながらパリで妊娠、出産、育児を経験しました。

パリ日本文化会館 (Maison de la culture du Japon à Paris) 事業案内 (2022年9月20日～11月10日)

入館案内

※当館は9月1日より開館しております。また、当館内でのマスクの着用は不要です。

【展示】

「Les Êtres Lieux」展

会期：6月23日(木)～10月1日(土) 会場：2階展示ホール 入場料：無料
内容：日本と直接または様々なかたちで縁のある、世代の異なる4名の作家の作品を紹介する現代美術展です。各作家が置かれた<環境：土地・場所>との関係をそれぞれに考察し、写真・平面作品・映像・インスタレーションなどの多様なメディアムによる作品で表現した作品を紹介します。本展を通じ、変わりゆく世界とどのように繋がりが、関わっていくことができるのか、皆さんと共に考える機会を提供します。出品作家(アルフレッド順)：Amie Barouh、磯部行久、増山たづ子、Sara Ouhaddou、監修：Elodie Royer (インディペンデント・キュレーター)

パリ日本文化会館開館25周年記念展

「いきもの：江戸東京 動物たちの暮らし」

会期：11月9日(水)～2023年1月21日(土) 会場：2階展示ホール
入場料：一般5€、割引3€
内容：江戸・東京の人々といきもの暮らしの歴史と文化を、東京都江戸東京博物館の珠玉の所蔵コレクションから紹介します。動物との暮らしを楽しむ人々が描かれた浮世絵や、生活用品のデザインに取り入れられた動物たちの姿を通して、人といきもの共生の素晴らしさと、その前提となる豊かな自然環境の大切さを感じることができます。

「スポーツポスター」展

日時：9月1日(火)～10月8日(土) ※関連講演会 9月22日(18時30分より)
会場：地上階ホール 入場料：無料
内容：アジア初の開催となった1964年東京オリンピックは、日本にとって戦後復興を象徴する歴史に刻まれる出来事となりましたが、故・亀倉雄策(1915-1997)による革新的なポスターシリーズのビジュアルインパクトが、この大会を盛り上げる重要なカギとなったことは、疑う余地もありません。本展では、現役で活躍中の若手からグラフィックデザイン黎明期を牽引した巨匠など、日本を代表するグラフィックデザイナー9名によるスポーツポスターを24点厳選してご紹介します。「動きの感覚」を呼び起こす、ユーモアと個性にあふれる作品をお楽しみください。

なお、9月22日18時30分より、関連講演会をゲストに、フランスにおけるグラフィックデザイナーの第一人者であり、キュレーターのミシェル・ブーヴェと、美術史を専門とするエシロールのグラフィックアートセンターの創設者のディエゴ・ザカリアを迎えて、戦後から現代に至るまでの日本のグラフィックデザインの歴史とモダニティの追求に焦点を当て、講演会を実施します。

いけばな小展示

会期：10月11日(火)～15日(土)
会場：地上階展示スペース

「伝統と先端」展 ～日本の地方の底力～

会期：11月2日(火)～11月29日(土) 会場：地上階ホール
入場料：無料
内容：日本列島各地の伝統工芸は、モノを芸術の域まで高める「ものづくり」の価値観を原点としています。今日でも、歴史ある伝統工芸品の優美なデザイン、繊細な手作業、そしてその高い完成度は日本人の日常生活を豊かなものしてくれます。第10回目となる本展では、生活に欠かせない三つの要素「衣・食・住」をテーマに、日本の地方に根付いた伝統工芸の職人の技が現代の生活に息づく多様な展示品を通して、その豊かさの一端をご紹介します。

【公演】

北之台雅楽アンサンブル雅楽公演

日時：9月30日(金)20時、10月1日(土)16時 会場：大ホール
入場料：一般20€、割引18€、MCJP会員16€
内容：千数百年に及ぶ長い伝統を持つ日本の雅楽を通じて国際文化交流を続ける北之台雅楽アンサンブルによる公演です。管弦・舞楽・歌謡と多彩なプログラムで雅楽の魅力は今に伝えます。

「笑田ヨシへの4つの質問」 作・演出 マキシム・キュルヴェルス

日時：10月11日(火)～14日(金)20時、15日(土)16時
会場：大ホール 入場料：一般15€、割引12€、MCJP会員10€
内容：新しい切り口で演劇を扱うことで近年注目を浴びているマキシム・キュルヴェルスが、フランス演劇界で長年活躍してきた俳優の笑田ヨシに「4つの質問」を投げかけます。両者の対話を通して立ち現われる笑田ヨシの演劇観や役者としての心得を通して、演劇・演じることが我々や社会にもたらすものを探ります。本作はフェスティバル・ドートンヌ公式プログラム作品です。

劇団賛沢寅子「わかるうたはおもっているけど」 作・演出 山田由梨

日時：11月4日(金)20時、5日(土)17時、7～9日(月～水)20時 ※7日(月)は当公演のために特別開館いたします。詳細はウェブでご確認ください。
会場：大ホール 入場料：一般20€、割引18€、MCJP会員16€
内容：第64回岸田戯曲賞の最終選考にノミネートされた新鋭の作家・演出家、山田由梨。この作品は、女性が妊娠した時にカップルが直面する認識のズレを、一方の性に肩を並べず対等に描いたフェミニズム演劇の秀作です。1人の女性を4名の登場人物を通して描くことで、女性の心の揺れや時代による考え方の変遷も表現しています。本作はフェスティバル・ドートンヌ公式プログラム作品です。

劇団イキウメ 「外の道」 作・演出 前川知大

日時：11月22日(火)～25日(金)20時、26日(土)16時
会場：大ホール 入場料：一般25€、割引22€、MCJP会員19€
内容：禅の考えや西洋哲学に影響を受け、演劇を通してSFや超常的なモチーフを表現し続けてきた前川知大が切り拓いた新境地として2021年に日本の演劇界で話題となった「哲学ホラー」作品を、フェスティバル・ドートンヌ公式プログラム作品として上演します。二十数年ぶりに再会した男女が体験した不思議な出来事を通して、大震災やコロナ禍といった想定外の事態に対応できない硬直化した現代日本を炙りだす形而上学的な演劇作品です。

【映画】

「男はつらいよ」全50作品年間連続上映 One Year With 寅さん

日時：2022年1月～12月年間通じて実施。
内容：シリーズ「男はつらいよ」全50作品及び関連映像を、1年かけて一挙に上映します。本連続上映はフランスの観客にも大好評を博しており、寅さんファンの輪は世界に広がっています。9月～12月は第36作から第44作までを上映予定(9/10、9/15、9/17、9/21、9/22、10/6、10/8)。
会場：大ホール 入場料：一般6€、割引/会員3€
内容：シリーズ「男はつらいよ」全50作を1年かけて一挙に上映。日本で誰もが知る本シリーズを大々的にフランスで紹介する初めての機会となります。4K修復版で鮮やかに描かれた1970～90年代の日本、東京柴又と、毎回さまざまな地方を舞台に、寅さんの人情とユーモアがあふれる映画をお楽しみください。

「NHKワールドへようこそ！」

日時：9月3日(土)～11月5日(土)
会場：小、大ホール 入場料：無料
内容：NHKワールドで放送された名作を、フランス語字幕つき大画面で上映します。「今ここにある危機とほくの好感度について」「心の傷を癒すということ」「横綱白鵬 孤独の14年」「陰翳礼讃」「3.11津波」など。詳細は当館HPをご覧ください。

【第5回瀬戸内国際芸術祭とのコラボレーション企画】

観光と現代アートの発見をつなぎ、島の将来の展望につながってほしい、そんな「海の復権」を目指し開催される瀬戸内国際芸術祭は本年第5回を迎えました。汚染工場、廃棄物貯蔵場と化した島の再建、地域を活性化し、瀬戸内海に浮かぶ12の島で、240名のアーティストが作品を展開します。

(1) (ドキュメンタリー) 「闘う建築家 安藤忠雄」

日時：9月14日(水)19時
会場：小ホール 入場料：無料(事前予約制)
内容：昨年パリにオープンした現代アート的美術館「ブルス・ドゥ・コムルス・ピノー・コレクション」をはじめ、瀬戸内の「ベネッセハウスミュージアム」や「ANDOMUSEUM」等、世界中で数多くの建築を手掛ける安藤忠雄。その安藤忠雄の新たな挑戦について密着取材したNHKインターナショナルのドキュメンタリーを上映します。

(2) (ラウンドテーブル) 瀬戸内国際芸術祭を機に～響きあう芸術と自然～

日時：9月16日(金)18時30分
会場：小ホールおよびオンラインライブ配信 入場料：無料(事前予約制)
内容：観光につながる芸術、インスタレーション、自然や現代アートの対話などをテーマに、モデレーターにクレリア・ゼルニックパリ国立高等美術学校教授を、登壇者に、本芸術祭への参加経験のあるニコラ・ダロ、ニコラ・フロック、ヴェロニク・ジュマル、ジョルジュ・ルスの4名のアーティストを迎え、ラウンドテーブルを行います。

上映会&トーク「アケジ、山に棲む」

日時：10月15日(土)15時～17時
会場：小ホール 入場料：無料(事前予約制)
内容：2018年に逝去した書家・住吉アケジ師を追いかけたドキュメンタリー。山奥にひっそりと佇む草庵で、動物や自然の精霊たちに囲まれながら、時間にとらわれない暮らしを送る夫婦、アケジと朝子。その暮らしを二人の監督、メラニー・シャンとコランタン・ルコントが映像に収めました。上映会後、チェルヌスキ美術館日本コレクション担当者の司会の下、監督2名とのトークセッションを行います。

【講演会・セミナー・シンポジウム】

「アフリカ、フランス、日本」 交差する視点

日時：9月24日(土)14時～15時30分
実施形態：オンライン講演会(無料・予約なし)
内容：地理的にも歴史的にも距離のある日本からアフリカへの視線、地中海を隔て歴史的にも関係の深いフランスからのアフリカへの視線、そしてその逆のアフリカからの視線。それぞれどのような共通点や相違点を見いだせるでしょうか。現代文化を軸に、アフリカ、日本、フランスのリンクを探ります。登壇者にはウズビ・サコ京都精華大学全学研究機構長(元学長)、坂井真紀子東京外国語大学大学院教授、エロワ・フィク社会科学高等研究院准教授、モデレーターには阿毛香絵京都精華大学特任講師をお迎えします。

「和食文化を作る日本の概念-コンセプトとその意味-」

日時：10月13日(木)18時～20時
会場：小ホール 入場料：予約制、無料
内容：料理研究者・土井善晴氏は、日本の料理を初期化し、命を作る仕事である家庭料理の本質を伝えるための活動を精力的に行っています。また、変化する料理とその周辺を考察した食文化を提案し、日本の未来を担う若者に持続可能な日本らしい食を伝えたいです。今回、ご来仏の機会を捉え、土井氏に日本文化、日本料理についてご講演いただきます。その後、土井氏の娘であり、料理家である土井光氏と、彼女のL'institut Paul Bocuse時代の同級生であり、日本への留学経験のあるシェフ Blanche LOISEAU氏が、日本文化、味噌への可能性をめぐって対談します。

パリ日本文化会館 (Maison de la culture du Japon à Paris) 事業案内 (2022年9月20日～11月10日) 続き

コリーヌ・アトラン氏を迎えて

日時：10月19日(水) 18時30分～

会場：小ホール 入場料：予約制、無料

内容：日本文学翻訳者として数々の作品に携わってきたコリーヌ・アトラン氏の新著「Le Pont flottant des rêves」が今年10月に出版されるのを機に、アトラン氏と、ヴィアラ九条山顧問及びアート・プロデューサーの大江ゴティニ純子氏が、日仏間の交錯する文化(double culture)、日仏の言語や文化について対談をおこないます。

日本における男女平等・機会均等

日時：11月5日(土) 14時～

会場：大ホール 入場料：予約制、無料

内容：世界経済フォーラムが公表した「ジェンダーギャップ指数2021」で日本は156か国中120位という結果でした。職場における女性の立場、学校や家庭、夫婦といった環境における女性の立場、社会の制度や習慣などさまざまな分野に根強く残る男女格差や今後の取り組みについて、日本におけるジェンダー研究を専門とするアリーヌ・エナンジェ氏(オルレアン大学准教授)を講師に迎え、同日開催公演「わかるうとはおもっているけど」演出家の山田由梨氏との対談を実施します。

2022年度渋沢クローデル賞記念講演会

日時：11月24日(木) 17時30分～

会場：小ホール 入場料：予約制、無料

内容：日仏の文化に関し優れた研究成果を評する渋沢・クローデル賞は1984年に創設され毎年人文科学、社会科学分野等、フランス側、日本側それぞれ1名ずつ選出されています。EHESH日仏財団と日仏会館共催により本年10月に選出される2022年度フランス側受賞者を招き、記念講演会を実施します。

上映会&トーク 「アケジ、山に棲む」

日時：10月15日(土) 15時

入場料：予約制、無料

内容：2018年に逝去した書家・住吉アケジ師を追いかけたドキュメンタリー。山奥にひっそりと佇む草庵で、動物や自然の精霊たちに囲まれながら、時間にとらわれない暮らしを送る夫婦、アケジと朝子。その暮らしを二人の監督、メラニー・シャンとコランタン・ルコントが映像に収めました。上映会後、チェルヌスキ美術館日本コレクション担当者の司会の下、監督2名とのトークセッションを行います。

【ワークショップ】

生花流派別 特別ワークショップ：草月流

日時：10月22日(土) 14時～15時30分

入場料：30€(材料費込み)

内容：日本の伝統文化である生花は600年もの歴史があり、様々な流派が存在します。今回のワークショップでは、型にとらわれない自由で斬新な草月流のいけばなをご紹介します。講師による解説とデモンストレーションの後、実際に草月流の生花を生けてみましょう。花材はお持ち帰りいただけます。

篆刻

日時：10月22日(土) 13時30分～15時30分、16時～18時

参加費：38€(材料費込み)

内容：篆刻は書道の一分野の、最も小さな芸術です。古来より「方寸の世界に宇宙を宿す」と言われるように、ほんの数センチの小さな空間の中に壮大な世界が広がります。今回のワークショップでは篆書、またはかな文字で、お名前またはご希望の字を彫ります。世界でひとつ、オリジナルの篆刻印は、作品や手紙にサインとして用いたり、本や持ち物に押ししたり、使い方はアイデア次第です。さらに印面を守るための「はかま」も作ります。10歳以上対象。

「剣の道入門ワークショップ」

日時：10月25日(火) 8-17歳セッション14時及び16時、大人セッション18時

参加費：8-17歳セッション12€、大人セッション20€

内容：柔軟で流れるような剣術の動きによって身体と精神の調和を養います。合気柔術、居合術といった武道のプロである松浦真人氏が、木刀を使って剣術の基礎をお教えます。動きやすい服装でご参加ください。

【子供・青少年向け事業】

「カタヒラヨシミ先生のマンガ集中講座」

日時：10月25日(火)～29日(土)

入場料：5セッション1コース200€

内容：12歳以上対象。絵を描くことが好きな人向けの漫画集中講座。授業で使う道具は、鉛筆、消しゴム、定規、黒のサインペン、そのほかに使い慣れた画材を各自必ずお持ちください。練習用の紙と、原稿用紙はこちらで用意します。

1日目 ストーリー作りと絵の基礎を学ぶ

2日目 キャラクターデザインと表紙を完成させる

3日目 ストーリーボード

4-5日目 原稿完成

折り紙ヒコーキを作って飛ばそう!

日時：10月26日(水)及び27日(木) 14時、15時、16時

入場料：無料・予約制

内容：6-12歳対象。「折り紙ヒコーキ」は、だれでも手軽に楽しめる遊びです。「1枚の紙がおどろくほど風に乗って飛んでゆく」、それが「折り紙ヒコーキ」です。JAL指導員が飛行機の仕組みを取り入れた折り方をお教えます。折った飛行機を一番長く遠くに飛ばせるのはだれかみんなで競争しましょう!

子ども日本舞踊アトリエ

日時：11月2日(木)及び3日(金) 14時、15時、17時

入場料：学童セッション子ども一人当たり8€、一般セッション浴衣レンタル付き15€、レンタル無し12€

内容：400年近い歴史を誇る古典芸能である日本舞踊。子ども日本舞踊アトリエはお子さんたちに日本舞踊を五感で体験してもらおうアトリエです。手を膝に背筋を伸ばして先ずはお辞儀から。そして、実際に舞台上で踊ってみましょう!着物やお稽古道具(扇子、手拭い等)に触れつつ日本舞踊の世界の扉を開けて行きましょう。

講師：藤間裕風

対象1 幼稚園から小学生の学童グループ

対象2 幼稚園から小学生低学年 5歳～8歳児

対象3 小学生中学年以上 9歳以上

子ども・家族向け公演 NAÏKÖ

日時：10月28日(金)、29日(土)

入場料：公演大人8€、子ども5€、10人以上の子どもグループ一人当たり3€、ワークショップは予約制無料

内容：デジタルアート、造形芸術、アコースティック音楽、電子音楽を駆使し、ライブで作られていくモノクロアニメーションを通して、映像と音の美しい世界をぜひご覧ください!公演「NAÏKÖ」の後、アーティストたちがワークショップを実施します。NAÏKÖ作品がどのように作られているのか、その舞台裏をのぞいてみましょう!

【教室】

囲碁教室

開催日(土)：9月17日・24日、10月1日・8日・15日・22日、11月5日・26日、12月10日・17日

<上級>14時半～16時 <全レベル>16時～17時半

受講料：10回コースに対し50€、MCJP会員及び18歳以下割引 35€

裏千家茶道-茶の湯

開催日：9月14日～12月14日までの毎週水曜日(第5水曜日・祝日を除く)

参加費：一律12€

裏千家茶道教室

開催日：10月5日～11月23日までの水曜日、17時15分コース及び18時コース

参加費：8回コースに対し88€、MCJP会員割引64€、学生(26歳以下)割引76€

表千家茶道-茶の湯

開催日(土曜日)：10月8日・29日

参加費：12€

表千家茶道教室-立礼

開催日：9月20日～12月6日までの火曜日(10月25日・11月1日を除く)

17時30分～19時30分 受講料：10回コースに対し130€

生花教室

小原流：火曜日 初級12時～13時30分、中級14時～15時30分：9月13日・27日、10月4日・18日、11月8日・22日

草月流：木曜日 初級13時～14時30分、中級15時～16時30分：10月13日・20日、11月17日・24日、12月1日・15日

池坊流：水曜日 初級及び中級18時～19時30分：10月12日・19日、11月9日・23日、12月7日・14日

デモンストレーション：10月15日(土) 14時～16時 レセプションホール

入場料12€

書道教室

開催日10月13日～12月15日までの木曜日(10月27日・11月3日は除く)

18時～19時30分 受講料：8回コースに対し160€

布ぞりワークショップ

開催日(金)：11月18日・25日 14時～17時 参加費：2回コースに対し45€

折り紙アトリエ

開催日(水曜日)：10月26日及び11月2日

8歳以下14時30分～15時15分、8歳以上15時30分～17時

受講料：8歳以下セッション3€、8歳以上セッション6€

日本画入門教室

開催日(金曜日)：9月23日～10月21日もしくは11月18日～12月16日

18時～20時 受講料：225€/5セッション1コース

日本庭園入門教室

開催日(水曜日)：9月28日～10月19日 講座1：11時30分～13時、

講座2：14時30分～16時30分 受講料：4回コースに対し120€(ただし講座2はアルベールカーン庭園見学セッションが追加であり。入場料は別途受講者負担)

日本舞踊教室

開催日(水曜日)：11月16日～12月14日 15時30分～17時

受講料：5回コースに対し着物レンタル付125€、レンタル無し100€

【日本文化体験アトリエ】

該当期間の実施はありません。

■日本語事業部では、フランスの日本語学習者、日本語教師の方、そして広く日本語教育に関心をお持ちの方々を対象に、さまざまな日本語教育事業を行っています。

【お問い合わせ先】 教師相談：nihongo.contact@mcjp.fr 日本語講座：koza@mcjp.fr

【日本語講座】

当館では、成人を対象にした日本語講座(初級～中級)を開講しています。

講座は2学期制で、秋(申し込みは6月)と春(申し込みは1月)に開講します。

詳細は以下のサイトをご覧ください。

<http://www.mcjp.fr/fr/langue-japonaise/apprendre-le-japonais>

パリ日本文化会館 (Maison de la culture du Japon à Paris) 事業案内 (2022年9月20日～11月10日) 続き

【JFにほんご eラーニング など】

日本語コースや学習アプリ、学習者コミュニティ (https://minato-jf.jp/) を提供しています。「まるごと」をオンラインで学習できるコース (無料の自習コース、A1～A2.2レベルが開講中) を始め、教師サポート付きコース (A1.2レベル、2月下旬申し込み締め切り)、ひらがな・カタカナのコース、まんがや俳句をテーマにしたコースなど、多彩な日本語オンラインコースを開講中です。

詳細や登録方法については以下をご覧ください。
https://www.mcjp.fr/fr/langue-japonaise/apprendre-le-japonais/cours-en-ligne_1

【オンライン事業】

「Le studio」: アーティスト・専門家を招いて、舞台、美術等の様々な分野の日本文化を紹介。

<パリ日本文化会館の催しに関するお問い合わせ>

火曜日～土曜日、11時～19時 問合せ先: TEL 01 44 37 95 01

所在地: 101 bis, quai Branly, 75015 Paris

http://www.mcjp.fr/

*日本人会発行のAMICJカードの提示でMCJP会員価格の適用が受けられます。



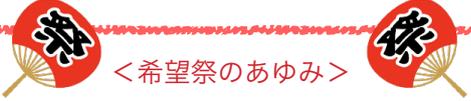
楽しかったバカンスも終わり、新学期を迎えました。9月3日(土)には St.François 校にて、登、下校時の生徒、保護者の方々の元気な姿を拝見致しました。補習校に戻ってくる事を待ちわびていた様に感じましたし、新入生は少し不安そうではあったものの、目は輝いていた様に見えました。コロナ禍は未だ終息しておりませんので、注意しながらの授業が続きますが、これからの一年が有意義で、実りある年である事を祈りながら、教師一同頑張っていくつもりですので宜しくお願い致します。
校長 飯田 隆一

買い物のおまけに水筒をもらいました。フランス語でgourde。辞書を引いてみたら、①ひょうたん②水筒③とんま、間抜け…とあります。昔は日本でもひょうたんを水筒に使っていましたよね。時代劇でひょうたんから水やお酒を飲むシーンがあります。中が空っぽだから、水でも浮く。だから、水難除けのお守りにもなっていて、水路の多い佐賀では小さい子がよく首につけていました。でも、③間抜けって…。中が空っぽということで罵りの言葉になっているのでしょう(頭がピーマンみたい)が、中が空っぽだからこそ、水がたっぷり入れられるのに。中身が詰まっていたら、入れられなくなるのに…。水筒に気の毒な気がします。私は感謝していますよ、水筒さん。言葉っておもしろいですね。辞書を引いて、語源を調べて、いろいろ広げてつなげていこうと思わぬ発見があります。さあ、今年度もみんなで楽しく勉強しましょう！
廣重 幸美

夏休みを終え、日焼けして一回り大きくなって、子供達が帰って来ました。夏休みの話で、日本のいろんな都道府県名、フランスやヨーロッパのいろんな地名が聞かれました。皆それぞれの頭の地図に、聞いた場所を思い描いていたことでしょうか。さあ、新年度。聞いて分かる、は皆大体できます。でも、自分の本当に言いたいことを伝える力、それはいろいろな物を読むことでついてきます。コンピューターの時代でも、手書きの能力や手書き文化を継承する意味も込めて、これからもがんばって、頭と手で漢字を覚えていきましょう。日本語友達を大切に、楽しい雰囲気の中で、毎週の地道な努力を続けていきましょう。
ワイルド令子

新学年を迎えました。夏休みが終わって帰ってきた子供達は、心身共に成長されていて、いつも驚きと感動を覚えます。新しい教科書を持つ手も今までもまして、頼もしく感じます。今年度も一緒に新しい漢字を学んで、教科書の中の作品を読んで、考えたり、話し合ったりしたいなと思います。国語の勉強を続けるのは大変なときもあるでしょう。でも今のがんばりが、将来のみんなにつながっています。これからも一緒にがんばりましょう！
浜田 喜代香

はじめまして。今年度から補習校で教壇に立たせて頂くことになりました。土曜日の三年生上と下、六年生クラスを担当させて頂きます。(以前は、北海道、京都市そしてフィジー共和国の小学校で教壇に立ちました) 現地校の勉強もある中で、日本語の勉強も続けていこうという補習校の子ども達の意欲を、心から尊敬しています。一緒に勉強して身につけていく日本語の力が、将来、彼らの役に立つようにという願いを込めて、授業を進めていきたいと思っています。皆様と日本語の学びを通して関わられることを楽しみにしております。
どうぞよろしくお願い致します。
ストラー飛鳥



<希望祭のあゆみ>

今年の10月9日の「Fête du Japon」は今までの希望祭を発展させJAPONと命名することで、より多くの人々にご来場いただくことを目的とし、従来の募金活動祭から一歩踏み出すことになりました。ついて、募金活動を主とした希望祭を振り返ります。

希望祭は2011年5月20日に予定されていた日本人会バザーを東日本大震災をうけて『希望祭』と命名、義援金を募ったのが始まりで、常時パリ大学都市日本館を会場として日曜日に行って来ました。希望祭実行委員会(現在構成員14名)が日本人会・日本館・日本トランスユーロ共催イベントとして行ってきました。

- 第1回2011年5月20日 日本赤十字に6738,79€寄付
- 第2回2012年6月3日 東日本大震災被災者向け寄付額5604,18€ (あすなる基金東日本大震災津波孤児育英会&子どもたちを放射能から守る全国ネットワーク)
- 第3回2013年9月22日 東日本大震災被災者向け寄付額2541,39€ (同上)
- 第4回2014年5月25日 東日本大震災被災者向け寄付額2087,66€ (同上)
- 第5回2015年5月31日 東日本大震災被災者向け寄付額1451,16€ (同上)
- 第6回2016年5月22日 東日本大震災被災者向け寄付額942,59€ (同上)
- 第7回2017年5月21日 被災地障害者センターくまもとに向け寄付額2669,86€
【テーマ: 子どもを喜ばせる】
東日本大震災被災者向け寄付額1043,97€ (同上)
- 第8回2018年5月27日 被災地障害者センターくまもとに向け寄付額1043,97€
【テーマ: ジャポニスム2018応援】
東日本大震災被災者向け寄付額1731,23€ (同上)
- 第9回2019年5月26日 被災地障害者センターくまもとに向け寄付額842,72€
【テーマ: 令和元年】
東日本大震災被災者向け寄付額1897,82€ (同上)
- 被災地障害者センターくまもとに向け寄付額415,51€

第9回希望祭のサイトは、
https://zaifutsunihonjinkai.fr/activities/post-4462/
第10回・11回希望祭は、新型コロナウイルスの感染により会場(日本館)に多人数を集めるイベントは不可能ということで中止となりました。

新刊案内、アトリエやイベント情報は
@JunkuFr



営業時間 月～土 10時～19時
Librairie japonaise JUNKUDO
18 rue des Pyramides
75001 Paris France
Tel: 01 42 60 89 12
Mail: contact@junku.fr



『料理家たちの名作レシピ』
永久保存版です。
マガジンハウス 刊

FEHRENBACH DRIVING SCHOOL



=外国人向け自動車教習所=
英語・フランス語・日本語

34年の実績

- ・ フランス自動車免許の取得 (切替は入国1年内のみ)
- ・ 右側通行運転の実習
- ・ AT車・MT車での実習可能

53 boulevard Henri Sellier 92150 SURESNES
Tel. 01 45 06 31 17 (代表) / 06 20 63 75 31 (日本人係)

fehrenbach@frenchlicense.eu AmicJカード提示で料金10%引き
www.frenchlicense.eu



モンマリは別名は“台風目”または“ムスィュームチャプリ”前者はまるで“台風目”が如く、本人は至って平然と我が道を進み、周囲がその渦に巻き込まれ振り回されるパターン、後者は読んで字の如く“ムチャプリ殿”しかも度々“メッチャ”が外せないパターンでございます。

モンマリの命を受け、8年前の重陽の節句、9月9日に子供2人、ワンコ2匹と共にフランスに降り立ち、夏のぶり返して酷暑となりましたその日、一路パリを目指し汗だくで伽藍堂アパルトマンに転がり込んだ訳でございますが、数週間後にネット環境が整うや否や「狂言公演をやるう！」と無茶苦茶なことを仰るのですから、既出の別名がついてあたり前田のクッカー。

「狂言公演やるう?!」いやいや、ライフラインと申しましょうか、電気は通りましたものの、ガス台も冷蔵庫もベッドも無い中、しばらくカセットコンロに寝袋、プラスチックケースの出来合いメシ生活者でありましたのわたくし共に、会場を探せ!とは何たる仕打ち。しかし、それまでの結婚生活で「Non」と言えない日本人妻に仕立て上げられておりましたわたくしは、モンマリの指令に従うべく、何とか子供たちの通学先を確定させ、ConforamaとCastoramaに通い、椅子やゴミ箱やミラーやらを市内バス利用にて運び入れ、IKEAから取り寄せた家具を毎日のように組み立て、不用品があるとの連絡で知人宅を訪ね、家具や食器をゴムバンドでグルグルに縛り付けた“ガラガラ”を運ぶ日々の続いたある日のことでございます。その日はテーブルを購入し、運びようのない包装段ボールへ持ち手用にと不恰好な穴の開けられた状態でバスを待っておりました折「お母さん、この生活はいつまで続くの? 恥ずかしくないの?」と娘に尋ねられたのでした。それもその筈、生まれてこの方不自由無く、自家用車もある中で暮らしてきた娘にとって、大きな荷物を公共交通機関で運び、人さまからものを譲って頂くこの状況は、あまりにも不安で惨めに感じたのでしょう「嗚呼ごめんね、子持ち肝っ玉かあちゃんになると、これしきのこと恥ずかしいとも何とも感じなくなっちゃうのよ。今日このテーブル買っちゃえば、あと大きなものはないから、お母さん一人で運べるから、これで最後、恥ずかしかったのね、ごめんね」と多感な時期を迎えていた娘に詫言のでした。

そんな揺れ動く娘の心情などもよそにGoing My Way台風目のモンマリからは度々「まだ? マダ? 未だ?」とメッチャムチャプリコール。ラブコールならまだしも、家族いち駄々っ子モンマリの為、パリ暮らしスタートから1か月、最低限の生活スタイルが確保出来たか出来ないかの頃、当時唯一繋がらせて頂いておりましたパリでご活躍のアーティストさん方へムチャプリなご相談を開始、実現しましたのがそこから4ヶ月後、パリでの初自主公演「猿神」。会場費支払いの為の小切手の書き方もわからず、出演者さまに助けて頂く始末…この5ヶ月間で白髪がどっと増えたことは言わずもがな…
本日はこの辺で。
平和への祈りを込めて。

【ご案内】
コロナ禍の煽りを受けすっかり頓挫しておりました自主公演、その名も“パリ延年之会”ようやく再開の目処が立ち、本年11月16、17日、MPAAサン＝ジェルマンにて開催の運びと相成りました。詳細のご案内はまた後日、是非ご予約空けておいて頂けましたら幸いです!



ムチャプリに応じて下さり実現したアルテ・コンボとのコラボ公演の案内



小笠原尚子(おがさわらたかこ)プロフィール:
“やんちゃ狂言師の裏方古女房” 東京生まれ。神戸→名古屋→横浜→佐渡ヶ島育ち。故八世野村万蔵主宰“わざおぎ塾”にて学生時代に演劇を勉強中、狂言師小笠原匡と出逢い1996年に結婚、伝統芸能の世界に入る。その後、大阪生活を経て2014年よりパリ在住。
現在、パリで狂言普及活動の傍ら、自らは役者業を再開!



Joseph Fourier



Jean-François Champollion

1798年、敵国英国の弱体化を狙ったナポレオンは英国の影響下にあるインドなど東方との連絡路を断つためにエジプト遠征をおこないました。この遠征は単なる軍事遠征ではなく、フーリエ、モンジュ(数学者)、コンテ(化学者)など総勢150名を超える学術調査団を引き連れたもので、遠征軍はカイロ制圧に成功しますが、1798年8月、アレクサンドリア沿岸のアブキール湾に停泊していたフランス艦隊がネルソン提督率いる英国艦隊に大敗を喫したことにより地中海での制海権は英国に掌握され、すでに上陸していた遠征軍は海路を断たれこの後3年間エジプトに取り残されることとなります。この間、学術調査団は古代遺跡などあらゆる調査やカイロ学士院を創設するなどの活動をおこないました。1799年、エジプト港湾都市のロゼッタで英国の攻撃に備えての城塞の改修中にその基礎部分からロゼッタ・ストーンが発見され、その表面にはヒエログリフ(聖刻文字、紀元前3200年頃-紀元400年)、デモティック(民衆文字)、ギリシア文字の3種類の異なる文字が対訳碑文として刻まれており、学術調査団は未解読言語であったヒエログリフの解読可能性を認識して模写を作成しました。しかし、1801年に英国軍がエジプトに上陸してフランス軍は敗北、この時のアレクサンドリア協定によりロゼッタ・ストーンなどは英国に引き渡され、現在ロンドンの大英博物館で展示されています。

ところでフーリエは、カイロ滞在中は学士院の書記官など務めていましたが、1801年の遠征軍の敗北とともにフランスに帰還、翌年2月にはナポレオンによってイゼール県の知事に任命されグルノーブルに赴いています。グルノーブルではイタリアのトリノへの道路を開通するなど知事としての功績を残す一方で、自身のサロンを開いて学術活動も行なっていました。12歳のシャンポリオン(Jean-François Champollion, 1790-1832)が兄に連れられてこのサロンに参加したのもこの頃で、フーリエから未解読の文字が刻まれたロゼッタ・ストーンが存在について知らされたシャンポリオンは、これ以降ヒエログリフ解読に情熱を注ぎます。16歳の時には現在のコプト語(4世紀以降のエジプト語で現在消滅の危機にある言語)が古代エジプトの言語と同じであることを主張、その後もコプト語を介してヒエログリフ解読にアプローチする研究を進めてコプト語の文法書を完成させています。そして1822年、20年の歳月を経てついにヒエログリフ解読に成功しています。

一方フーリエはというと、ナポレオンの浮き沈みと王党派からの冷遇に翻弄されつつも研究を続け、熱伝導研究の集大成となる「熱の解析理論」(1822)を出版、1826年にはアカデミー会員にも選出され、1830年5月16日に狭心症により62歳で生涯の幕を閉じています。

ヒエログリフ解読後、パリのコレージュ・ド・フランスの教授であったシャンポリオンは1832年3月4日にコレラによって41歳の若さで生涯を閉じましたが、生前、彼はパリのペール・ラシェーズ墓地のフーリエの近くに埋葬して欲しいと兄に頼んでいます。

(画像はwikipediaより引用)

日本人会活動案内 -各種相談室・講座・活動-

各種相談(会員のみ)

*要予約(電話に限る): 01.47.23.33.58

法律相談(フランスの法律問題)(手配料5ユーロ)

事前予約の上、電話で相談を受け付けます。

法律上のトラブルを抱えている方は、必ず関係書類をご用意ください。相談内容は職業上の守秘義務により厳守されます。予約は相談日の1ヶ月前から受け付けます。

滞在相談

日本人会にメールでお問い合わせください。contact@nihonjinkai.fr

健康相談

日本人会にメールでお問い合わせください。contact@nihonjinkai.fr

無料子ども相談室

臨床心理士、神経小児科医、保健師、助産師などの専門家がご相談にお答えいたします。ご希望の方は「子ども相談」という件名をつけてkodomo.fr@gmail.com 折口までメールください。

クラブ活動

ふらんす俳句会

有季定型を基調に句作の楽しみを味わっています。

連絡先 田賀 春代 h.taga@neuf.fr

子ども図書館

読み聞かせ 毎週水曜日11h30~13h00。日本語児童図書の出貸・返却は随時。

永年登録料: 子供一人/2ユーロ

女声コーラス「みもざ」

仲間とハモって、楽しいひとときをすごしませんか。

日本の歌、ミサ曲など。毎週火曜日13:30~16:00、Centre Catholique Japonais de Paris / 4 bd Edgar Quinet 75014 Paris あるいは Notre Dame de Compassion (Porte Maillot)にて。frmimosa.exblog.jpを参考に。

連絡TEL 06-76-41-79-61(長谷川)、メール: mimosafrance@gmail.com

詳細お問い合わせは上記までご連絡下さい。

日本人会アーティストクラブ(NAC)

日本人会会員の美術系アーティストのクラブ。年会費16ユーロ。毎月第一月曜日の18h頃~20h頃、オペラ界隈のカフェLa Clef des Champs (49, rue des Petits Champs 75001 Paris、京子食品の斜め向かい)に於いて月例の親睦会を開きます。飲み物代は自己負担。NAC会員以外の方の参加も大歓迎です。お問い合わせは日本人会まで。10月から曜日と場所が変更になりますのでご注意ください。

マロニエの会

毎月第2火曜日15h~17h茶話会「La Clef des Champs」49 rue des Petits Champs 75001 Paris 第3日曜日&第4水曜日14h30~国際大学都市「日本館」で月例会。

ホーム訪問、講演会、新年会、希望祭参加、郊外農園バーベキュー大会、バス遠足、美術館・催し物見学、食事会と楽しい企画も盛り沢山。

会報を年3回送付。年会費15ユーロ

連絡TEL: 06-2253-7418(六藤)、06-5170-4955(二口)

ソフトボール大会

春秋の年2大会あり。年齢・性別・国籍に関係なく、個人またはチームでの参加可。

連絡:実行委員長 代理 橋本 勝義 TEL: 06-14-73-37-31

キッズテニス

ARJ16 Tennis Club (Stade Henry de Montherlant : 32 Bd. Lannes 75016 Paris)

キッズテニス 小学生から高校生 毎週火曜日(現地校のパカンスを除く)

17時 2クラス 小学校低学年から高学年生

18時 2クラス 小学校高学年から高校生

現在満員の為、新規の会員募集はしていません。

空席が出次第ご連絡します。メールにてご相談ください。

一般クラス 随時会員募集

火曜日 11時、12時、14時、15時 木曜日 12時、13時、14時、15時

金曜日 11時

個人、グループでのレッスンをお受けします。

お問い合わせ amicalejaponaistc@yahoo.fr

川柳パリ会

インターネット上の「NET句会夏雲システム」を利用して開催されるバーチャルな句会を中心にした活動です。川柳をネット上の句会に投げたり、他の会員の川柳を楽しんだり、優秀だと思う作品を選挙して参加することが可能です。

連絡先:代表 石井 宏 parisici@yahoo.co.jp

各種講座

書道同好会

毎週木曜日の15h~17h 参加費:月25ユーロ

TEL:06-22-53-74-18 国際大学都市「日本館」

くもん日本人会教室

水曜日14h00~17h00 土曜日13h00~17h00 詳細はTEL:06 09 66 94 39(中村)

シャンソンDidier教室

日時:第2・第4土曜日(16時~18時)

場所:MPAA La Canopée

住所:10 passage de la Canopée 75001 Paris (Les Halles)

詳細は下記にお問い合わせください。

ch.tanaka@orange.fr

Tel. 06 0383 2674 (田中)

06 7483 4536 (山口)

太極拳・気功教室

上・中級クラス 日曜17h~18h 初級クラス日曜18h~19h 会場:54,rue Emeriau 75015 Paris 参加費:40ユーロ/月4回。非会員も参加可。但し45ユーロ/月。太極拳・気功の他に簡単に見つかる針、マッサージのツボ探し、健康自己管理の知識等も指導。講師/連絡先:ラン光旭(パリ第6大学医学大学院利気功・太極拳講師)

TEL:06-69-43-54-45 メール:yokogx@gmail.com

健康と美・ウォーキングレッスン

元パリミラノ東京コレモデル/現役モデルによるウォーキング・写真のポージング・メイクアップ・Before & Afterなどニーズに合わせた個人レッスン。(コース3回会員180ユーロ・非会員別途料金)詳細はお問い合わせください。講師:北幸子(Master Models,Oasis Styling) facustudio@gmail.com TEL:06-2296-0655

子供のための習字教室

土曜クラス:第2,4土曜日 11h-12h 場所:日本人会 授業料:1回15ユーロ(日本人会会員料金)。入学随時受付。

お問い合わせ:六藤佳世子 06-22-53-74-18 kayoko94000@yahoo.co.jp

日本館茶の湯同好会

一般稽古 於パリ国際大学都市日本館

火曜日(月二回)14時半~17時 土曜日(月二回)12時半~16時

参加費 大人16ユーロ 15歳以下 8ユーロ 予約制

百人一首の会 月一回 ズーム使用 無料(茶の湯会同好会会員のみ) 予約制

年間維持費16ユーロ(1月~12月)

連絡先:nihonkan.cyanoyu@gmail.com

成人学習者向け日本語講座

*現在活動休止中

お問い合わせ:nihongocafe022015@gmail.com

ヨガ教室 当面のところオンラインレッスンと個人レッスン 詳細はメールにて

日時:月曜日10h30~11h30、火曜日10h30~11h30/19h~20h、木曜日16h~

17h 会場:パリ7区 対象者:全てのレベル 参加費:1時間30€から

講師:ラロッシュ・アメリ 問い合わせ・申込み:info@vacances-amelie.com(日仏)

※在仏日本人会法人会員名簿は、インターネット・サイトに掲載されています。

日本人会ホームページの次のリンクをご利用ください。

https://zaifutsunihonjinkai.fr/about-nihonjinkai/houjin-kaiin/

amicJ協賛店一覧はこちらのサイトを参照ください。

https://zaifutsunihonjinkai.fr/members-service/amic-j-card/



日本の企業と個人向けに企業、災害、賠償、
運輸、医療、その他保険のことなら
何でもランポーラボロスへどうぞご連絡下さい

91, rue Saint-Lazare 75009 PARIS

TEL.01.53.32.20.00 まで

FAX.01.42.85.04.65



日本人会
「川柳パリ会」

日本人会「川柳パリ会」は、今年の5月よりNET句会システム「夏雲システム」を利用して、互選方式で句会を行っています。その三回目の句会を夏休みに開催しましたので、得点を多く獲得した句をご紹介します。

第三回 お題： 気象・祭り・観光地・バカンス・猛暑・パリ祭

[秀逸句] 同点二句

バカンスは貧富を見分ける虫眼鏡 無駄毛
サハラよりずっと暑いぞパリ猛暑 パリっ子

[二席] 同点二句

パリ祭で踊った彼が亭主です おてもやん
突風でメリーボピンズ植木鉢 スゲピー

どのようにNET句会が開催されているのか、ご興味のある方は是非「通りすがりの野次馬」として、以下のリンクから既に開催された句会を覗いてみてください。

リンク：<https://ntgm.nolimbre.com/paris/>

柳号：通りすがり

PW：paris75116

「結果公開中」の句会をクリックすれば、句会を覗くことができます（開催中の句会は、開くことが出来ません）。ただし、この「通りすがり」のログイン状態では、覗けるだけで投句、投票などの参加はできません。日本人会「川柳パリ会」では、新しい川柳仲間を募集しています。ご興味のある方は、日本人会までご連絡ください。皆様のご連絡をお待ちしております。

日本人会「川柳パリ会」
代表 石井

一日本の四季のレシピをフランスでー



真っ赤に実るトマト、いぼいぼのパリっとしたきゅうり、夏から初秋にかけて、毎朝、食卓にのぼる新鮮な野菜は、丸ごとそのままおいしく頂けます。おかえりなさい。今日も一日お疲れ様でした。ごはんをどうぞ。

【十二種類野菜のカレー】

じゃが芋、人参、玉ねぎ、ズッキーニ、大根、なす、ねぎ、セロリ、トマト、パセリ、いんげん、マッシュルームを、ひたひたの水を入れて煮、野菜がやわらかく煮えたら、ミキサーでとろとろにし、カレー粉、

塩、こしょうで更に煮ます。最後に、みそ、しょうゆを入れ、お好みの味に整え、蒸した人参、玉ねぎ、じゃが芋、マッシュルーム、ズッキーニを添えます。油で炒めず、にんにくも入れないので、夏バテ気味のおなかにやさしいカレーです。お好みで茶そばでも。

【おかず三種】

*セロリ ひじき きゅうり、人参のサラダ

*きゅうりのごまあえ

*切干大根はりはり漬け



倉田 節子・フィエベ 里奈

インスタグラム: @lina_fievet ウェブサイト: linafievet.com

著書『LA TRADITION DU VEGETAL(éditions la plage)』の購入は一般書店及びeBookで

<https://www.laplage.fr/produit/386/9782383380443/japon>

【里奈のおすすめアーユルヴェーダ3色カレー】

インド伝統医学、アーユルヴェーダの食事といえば、スパイスを思い浮かべるかもしれませんがね。アーユルヴェーダでは、味や香りを引き立て、スムーズな消化をサポートするために、スパイスを使います。漢方、精進料理でも、一回の食事で、5つの味、酸味、塩味、甘味、辛味、渋味を大切にします。この5つの味にスパイスは最適です。身体にも心にも、バランスと調和をもたらします。

今回は、ご飯といっしょに楽しめる3種のスパイスレシピです。

ピーツとサツマイモのカレー。

青菜のスパイス炒め

青菜を胡麻油、クミンシード、生姜のスライスで炒める。

ムング豆のダール

ムング豆を油、クミンシード、コリアンダーシード、カレーの葉、昆布、塩と炒め、水を加え煮る。

【9月おすすめのチャイ】

紅茶の葉、カルダモン、クローブ、スターアニス、生姜などを水で煮だし、砂糖と豆乳を加えます。





終(ついに)のデザインのススメ

己の最後を決めるための
日本における相続・遺言の基礎知識(51)
(日仏間も視野に入れて)

民法改正の話の続き

改正相続法、「配偶者居住権」の新設の話のつづきです。

◆子らがいいよ、と言ってくれないと設定できない?!

配偶者居住権は、相続が発生しても、生存配偶者が自宅での居住を継続しつつ他の財産も取得できるというメリットがあります。自宅に住み続ける権利というのは、不動産(建物のみ)の使用権です。この点は、フランスの法定相続時における配偶者が選択できる使用収益権(用益権usufruit)に似ています。フランスの制度では、配偶者がこの使用収益権を「選択」できる場合がありますが、日本の類似のこの制度は、どうでしょうか?

日本の配偶者居住権は、次の条件をすべて満たすと成立します。

1. 残された配偶者が、故人(被相続人)の“法律上”の配偶者。
2. 配偶者が、故人の所有建物に、故人の死亡時に居住。
3. ①遺産分割or②遺贈or③死因贈与or④家庭裁判所の審判、いずれかにより配偶者居住権を取得。

つまり、遺言等でキッチリ指定するか、争いがなくとも他の相続人(子等)が遺産分割でOKを出さないと、配偶者居住権は取得、設定できません。配偶者に主体的な選択権はないのです。

◆配偶者居住権を登記するか否か。。。もそれなりに問題。。。

この配偶者居住権は登記することも可能です。配偶者と、設定対象の建物の所有権を取得する他の相続人と“共同”で登記する必要があります。他の相続人と関係が疎遠な場合、速やかに登記をしないと、建物の所有権者がその建物所有権を第三者(赤の他人)に売ると、その第三者に配偶者居住権者は対抗できません(自宅から追い出されるかも)。配偶者居住権は、原則として配偶者が生存する限り継続し、この権利を不動産所有権のように譲渡・売却はできないというのがその理由のようです。つまり、配偶者が「老人ホームに入居したいから自宅を売りたい」という場合でも自宅を売却できず、将来的に資金不足に悩むかもしれない、ということで、登記を申請していないケースがあるようです。

◆価値がわかりにくい日本の「配偶者居住権」

遺産分割協議のために配偶者居住権の価格を知る必要があります。

法務省が配偶者居住権の価値として、次の見解を例示しています。

配偶者居住権＝建物敷地の現在価値－負担付所有権の価値

この「負担付所有権の価値」というのは「建物の耐用年数、築年数、法定利率等を考慮し配偶者居住権の負担が消滅した時点の建物敷地の価値を算定した上、これを現在価値に引き直して求めることができる(負担消滅時までは所有者は利用できないので、その分の収益可能性を割り引く必要がある。)」と、一読ではパッとわからない内容であり、これを一般の方(相続人)が計算して、遺産分割の話し合い時に適切に利用できるのだろうか?と心配です。

日本では不動産は土地と建物が別々の取扱いであり、この権利が建物だけにしか設定できないことや、登記も任意で登記されていない場合もあったり、法務省は“簡便な”時価算定を例示しているようだが実際は難解だったり、と一筋縄ではいかない印象です。

価値が即座に算定できないということは、遺産分割の際に、配偶者が得る財産の全体の価値にも影響するでしょうから、分配を決める際のハードルとなりそうかもと思っています。

一方で、フランスの法定相続時に配偶者が選択できる使用収益権(用益権usufruit)は、その年代別で全体の不動産の◎%の価値と決まっており、この使用収益権の価値算定が容易ですから、配偶者の選択権行使もそれほど迷わないのではと想像します。

いずれにしても、配偶者居住権が使えるようになったのは、2020年4月1日と最近のことです。税務上のメリットを得る目的のために上述のとおり遺産分割協議で家族内の決め事として設定しても登記しない、など法の制度趣旨とは違う使い方になっていることもあるようで、今後の利用事例の積み重ねを待つ、というところでしょう。メリットもありますが、デメリットも以外とありそうですので、ご利用の際は、専門家にご相談されるのが安心でしょう。



司法書士 桑瀬 登起子(くわせ ときこ 会員)
Consulting Office 桑瀬
TEL: 03-3354-0445/FAX: 03-5363-8971
〒160-0008 東京都新宿区三栄町7-3-202号



連載

フランス生活 養生訓



第9回「甘～い誘惑、砂糖の魔力①」

疲れた時にふと口にしたくなる、甘い食べ物。フランスで生活するうえで避けて通ることの出来ない食材の一つと言っても過言ではないですよね?とはいえ、昨今では砂糖の過剰摂取が叫ばれ、「悪」とされがち。今回はフランス生活で切っても切れない関係である砂糖のお話を…。

1. 1日の砂糖摂取量ってどれくらい?
2. 砂糖のメリットとデメリットについて
3. 正しく砂糖とお付き合い
4. 隠れ砂糖に気をつけて!

1- 1日の砂糖摂取量ってどれくらい?

WHO(仏語:OMS/世界保健機関)が2015年に発表したガイドラインでは、成人・小児ともに、食品などに加えられている砂糖の摂取量は1日の摂取総エネルギーの5パーセント以内もしくは25gに抑えることが健康を維持する上で最も望ましいと推奨しています。砂糖は1g 4kcalですので、2500kcal摂取する方の場合には2500/4 X5%つまり、31gとなります。最低量である25gとは、コーヒースプーン5杯、もしくはフランスのカフェの飲み物に添えられた角砂糖の場合、たったの5個分!です。いやはや、WHOは理想が高い!笑 フランスで生活している方にとって現実的に若干無理がある数値なのではないかな…と思わざるを得ません。

これを受けてフランスのANSES(Agence nationale de sécurité sanitaire de l'alimentation, de l'environnement et du travail: 国立食品環境労働衛生安全庁)が2016年に発表した砂糖に関するガイドラインによる推奨量は、果物や野菜など食べ物本来に含まれている砂糖を含めて最大でも100gまで(乳糖、ガラクトースは除く)、また食品などに加えられている砂糖の摂取量は1日の摂取総エネルギーの10パーセント以内とされています。この場合、2500kcal摂取する方の場合には2500/4 X10%つまり、62,5gとなります。

朝のエスプレッソに砂糖1杯で5g、フレッシュオレンジジュース1杯(150ml)に15g、パン屋さんのパン・オ・ショコラ1つに8g、フルーツ入りのヨーグルトに15g、ジャムをティースプーンにこんもり1杯に5g…など、砂糖の量を計算し始めると、気づかないうちにあっという間に推奨量を超えてしまいます。甘い朝食文化のフランスにはかなり厳しい…。かくいう私も、栄養士とはいえ美味しいフランス菓子には目がありません。きっと推奨量を超えてしまっている日もあるはず…。

2- 砂糖のメリットとデメリットについて

砂糖を摂りすぎるとどういうデメリットがあるのでしょうか?WHO、ANSES共に、砂糖の過剰摂取はエネルギー過剰摂取を引き起こし、肥満の原因となる、と警告しています。また、虫歯や2型糖尿病、心疾患やがんなどさまざまな疾患の引き金となります。そして何よりも砂糖は中毒性のあるもの。一度甘い味を覚えると、どんどんエスカレートし、なかなか減らすことができないのです。

では、悪者にされがちな砂糖のメリットも見ていきましょう。

- ① 即効性がある効率の良いエネルギー供給源: スポーツ選手が運動直前に糖分補給をするのはこのため。消化過程が少ないため胃腸への負担がかからずにエネルギーを供給できます。
- ② 幸せな気分、リラックス効果を高める: 精神的安定をもたらす神経伝達物質であるセロトニンの生産向上に砂糖が関与するため、砂糖や甘いものの補給が心の安定につながります。

疲れた時に甘いものを食べてリラックスできるのは、気分の問題ではなくきちんと科学的根拠があったのですね!

過剰に摂りすぎなければ、いい面もあるお砂糖さん。

ということで、次回は砂糖との正しい付き合い方や工夫できることについてお話しします。

参考文献: ANSES: Sucres dans l'alimentation
<https://www.anses.fr/fr/content/sucres-dans-l%E2%80%99alimentation>



小椎尾 真衣(こじお まい)
Diététicienne-Nutritionniste /管理栄養士
インスタグラム
<https://www.instagram.com/diet.japonaise/>
(日々の食生活をゆるーり綴っています)

クープランのクラヴサン選集について



今年秋に出版されるクープランの《クラヴサン選集》は「クープラン生誕350周年」を記念して企画、着手されたものでした。資料選定はパリ・フランス国立図書館Source gallica. Bnf. Fr/Bibliothèque nationale de Franceに収められている初版とアメリカ・ニューヨークで1973年に出版された『ファクシミリ復刻版』が重要な資料で、1888年、ロンドン・アウグナー出版社『クープラン《クラヴサン全集》全四巻クリュサンダー・ブラームス版』と1973年、パリ・ルデュック出版社『クープラン《クラヴサン全集》全四巻ケネス・ギルバート版』を参考に作成されたものです。楽譜はこのように資料を明確にせねばならず、『原典版』とそれに準じるものは根拠と出典を明確にさせるべきなのです。

初めて私が楽譜に携わったのは1974年、同じ『全音楽譜出版社』からバッハの《アンナ・マグダレーナ楽譜帳》でしたから、五十年前のことになります。当時の楽譜が現在まで重版を続け有難いことです。すでに重要視されたのが「装飾記号の解説奏法」でした。それは楽譜の問題だけではなく使用楽器の問題もあります。楽譜の問題はパリ・フランス国立図書館にあるものやファクシミリ復刻版はオリジナルの記譜法は音楽大学のソルフェージュ授業の教材のように「音域記号」が度々変わるバロック時代の記譜法で、現在の演奏家や学習者にとっては容易いものではありません。我々が使う楽譜は19世紀から鍵盤楽器がピアノに定着して以来、古典派時代からのものと言えるでしょう。

バロック時代の代表的な鍵盤楽器はチェンバロもしくはクラヴサンでした。19世紀の「ピアノ巨匠」たちはバロック時代の作品をピアノ用に「編曲」したのです。現在では考えられない、細部に手を加えるだけではなく聴こえ方がよいようにと移調さえしました。

バロック時代の響きに近づけるために復元楽器も考案されました。代表的な演奏家にワング・ランドフスカがあげられ、ヘルムート・ヴァルヒャ、カール・リヒターは「復元楽器・モダン楽器」で演奏していて名録音を残しています。ランドフスカの解釈に異を唱える人もあり、音楽分類学で功績のあったクルト・ザックスは責任者としてベルリン楽器博物館の歴史的鍵盤楽器を新進演奏家のフリッツ・ノイマイヤーが試奏する際に「ランドフスカの解釈(気ままなるパート)に従わない」との誓約書を書かせました。史実に忠実な音楽再生を目指し、1970年代、バロック時代以前の音楽演奏に「古楽器・ペリオド楽器」を使用することが多くなりました。「モダン楽器」が必ずしも作曲された時期に相応しいものでないとの主張から、「ペリオド楽器」で「作曲家が生存した当時の演奏を再現する」という考え方はザックス以降、正統的根拠となっています。

楽譜作成にあたり私はフランス国立図書館蔵のクープラン《クラヴサン全集》全四巻に忠実であることに努めました。楽譜本体は「ペリオド楽器」「モダン楽器」「ピアノ」に関わらず、演奏家や学習者に通用するものが出来ました。楽譜下の脚注に「装飾記号解説」の奏法に細心の注意を注ぎました。フランスの考え方、19世紀末にパリ・デュラン出版社の実用版ディエム版の楽譜本体からクラヴサン様式に相応しく演奏家各自の個性と趣味に従った演奏がなされます。中心軸パリから遠ざかるにしたがい、皮肉なことに古い解釈とされているディエム版から離れがなくなっているのです。私はシャンゼリゼ劇場で「フランス・バロック音楽」の合奏とオペラを30年来聴いた経験とフランスの友人に確かめて「ピアノ」には最良と思われるものを絞り出しました。

恩師たちの言葉が思い出されます。『やっぱり、パリに行かなきゃ!』

山崎 孝(やまざき たかし) 1937年生まれ。東京藝術大学卒業。ピアニスト

グローバル時代のコミュニケーション

～国や文化を超えて真に信頼関係を作るコミュニケーション～

【第32回】

みなさまこんにちは。

あつという間にもう9月も半ば、日本もすっかり秋めいてきました。コロナは相変わらずですが少し落ち着いてきました。国会では安倍総理の国葬問題、オリンピック汚職が議論されています。パリはいかがですか？パリの秋はいいですね。コロナが落ち着いたらまた是非訪れたいと思います。

さて、このコラムでは、これまでの私の経験体験から、グローバル人材に必要な考え方やスキルのベースとなっているものについて、私なりの考え方をお話してまいりました。

今回からは、ナラティブマネジメントという今必要になってきた新しい概念、手法について語りしたいと思います。

みなさんは、ナラティブという言葉をご存知でしょうか？辞書などで調べると「物語」とされています。物語はストーリーのほうが一般的です。ではナラティブとストーリーはどこが違うのでしょうか？知人のアメリカ人はその違いが明らかのようにでしたが、日本語で説明することはなかなか難しいようです。

私は、12年間30000人以上のリーダー、マネージャーの方々に研修講師として指導をさせていただきました。みなさんの悩みのほとんどは部下とのコミュニケーションです。私はこのナラティブという言葉の意味を理解したときに、この言葉の持つ力が必ずこれらの問題を解決できると確信しました。そしてリーダー、マネージャーと部下が良い関係になる手法を「ナラティブマネジメント」と名付け開発しました。皆様の悩みの解決にお役に立つことができると確信しています。

ではなぜ今ナラティブマネジメントなのでしょう？

ナラティブマネジメントのお話をさせていただく前に、まずはなぜこのような考え方が必要なのかということについて考えたいと思います。この理由は大きく3つあります。

- 1) 社会環境の変化
 - 2) 個人の価値観の変化
 - 3) 人事部の課題(悩み)解消
- の3つです。ではそれぞれ見ていきましょう。

1) 今、社会環境が大きく変化しています。今更言うまでもありませんが、コロナ以前からVUCA (Volatility: 変動性 Uncertainty: 不確実性 Complexity: 複雑性 Ambiguity: 曖昧性) の時代と言われていきます。そしてSDGs (持続可能な開発目標) も、急激にその必要性が目立ってきました。皆様の会社でも基本の方針に、この考え無しでは進めないう状況になったのではないのでしょうか。このように今はまさに社会的価値観が急激に大きく変化していると真ん中いると言えるでしょう。

このように急激に変化する環境下で必要とされる強い組織になるにはダイナミックケイパビリティ強化が必要とされています。ダイナミックケイパビリティとは、カリフォルニア大学バークレー校のデイヴィッド・J・ティース氏によって提唱された戦略経営論で、経済産業省の「ものづくり白書2020」においては「環境や状況が激しく変化の中で、企業がその変化に対応して自己を変革する能力」と説明されています。これに対応する言葉は、オーディナリー・ケイパビリティで、これは生産性や効率性を追求する能力であり、「ものごとを正しく行う」ための能力とされています。これまでの日本企業は改善という言葉に代表されるように、既存の知識の積み上げや、やり方を工夫し高度化し効率を上げる、このオーディナリー・ケイパビリティを得意としてきました。しかし今急激な社会環境の変化に対応するには、既存の手法を改善や高度化するのは対応できない。つまり全く新しいアイデアや視点を生み出し自らが自己変革する力がとても重要だということです。

次回もなぜいまこのような考えが必要なのかを解説しながら、ナラティブについて少しずつ解説してまいりたいと思います。

大山裕之 コンティニュー株式会社 代表取締役社長
社団法人コーチアプローチファシリテーター連盟 理事長
国際コーチ連盟認定プロフェッショナルコーチ

場所と

人の出会い

【41】
クールベとオルナン村



クールベの生家



オルナン村の中を流れるルー川

生涯罵詈雑言を浴びることになった。

現在オルセー美術館所蔵の「オルナンの埋葬」がサロンに出品されると、たちまち批判が沸き起こった。それ故に画家としてのクールベの存在を世に知らしめた作品でもある。幅7m近い大画面に黒い喪服姿の村人が50人ほど横に並んでいる。クールベは町長をはじめ十数人ものひとに実際にポーズを取ってもらい描いたため、登場人物の顔はそれぞれ極めて個性的になっている。一見無造作に人物を並べた様に見えるが、基調を成す黒と、クリーム色がかった白を使った全体の色調が、水平線を背にしてシルエットをなす群衆に一貫した効果を与えている。

批評家たちは、ほぼ独学で絵を学んだクールベが日常生活のありふれた逸話を、主題の平凡さに比べて法外とも言えるサイズで描き、まるで壮大な歴史の一場面を描くような広がりを与えたと行って非難した。画家の生まれ故郷であるオルナンの景色も、絵のモデルとなった村の住人たちも醜く、彼を「醜いものの伝道者」とあだ名した。



オルナンの埋葬



Gustave Courbet 1819-1877



その後、1855年、パリで万国博覧会が開催された際、博覧会場のすぐ近くに小屋を建て、「ギュスターヴ・クールベ作品展」と称し個展を開催した。レアリズム(写実主義)を宣言している。当時、画家が自分の作品だけを並べた「個展」を開催する習慣はなく、このクールベの作品展は、世界初の「個展」だと言われている。この個展は保守的な観衆には理解されなかった。高尚なテーマもなく、理想化もされない人物の絵に人々は大笑いをしたという。しかし、この個展が印象派の画家たちを刺激し、彼らがサロンから締め出された後、印象派展を行うきっかけとなった。

また、1869年夏、ノルマンディーのエトルタで二点の風景画を描いている。「嵐の後のエトルタの断崖」と「嵐の海」だ。

この二つの作品はいずれも1870年のサロンに発表され絶賛を浴び、レジオン・ドヌール勲章を贈ると通知を受けた。しかしクールベはこれを断固として拒否する。当時の文化大臣に「国家は芸術に介入すべきでない」という意志を持って、受勲を辞退したのであった。

その後、普仏戦争が始まり、やがて労働者の政権、パリコミューンが誕生すると、クールベは積極的にこれに参加し、コミューン美術委員会議長などを務める。やがてコミューンが崩壊すると、それまでの権力への反抗が災いし、ヴァンドーム広場の円柱破壊事件の責任を問われて逮捕された。その上、莫大な費用の支払いも命じられた。1873年にスイスに亡命し、1877年失意のうちにスイスで亡くなった。オルセー美術館所蔵の「鱒」はクールベの自画像でもあると言われている。血を流す瀕死の「鱒」、スイスへ亡命する前にオルナンで描かれたものだ。権力と戦い続けた反骨のクールベの不屈の思い、無念の思いが胸に迫ってくる作品だ。



嵐の後のエトルタの断崖



嵐の海

執筆: フランス政府公認ガイド 星野 守弘



片蔭をミニスカートや脛白く	ヨ	ヨ	容	容	春	春	な	な	勝	勝	ヨ	ヨ
七夕の短冊うれし墨の色	シ	シ	子	子	代	代	を	を	義	義	シ	シ
西瓜割り上段構へ突き構へ			佳	佳								
声援の棒より強く西瓜割り			久	久								
あんみつや妣の易しき憂き晴らし			里	里								
遠き日をあふるサイダー泡の音			美	美								
朝市の西瓜を叩き味比べ			佐	佐								
西瓜食み種の飛ぶ先胸の中			子	子								
目隠しの顔赤く染み西瓜割り												
手土産に小さき冷やし西瓜のみ												
カイト舞ふ海辺に君と杯重ね												
黄西瓜に黄蝶とまりて昼寝かな												
三角の西瓜ほほぼる丸き顔												
一日をまるくをさむる葛ざくら												
つい笑顔真つ赤な西瓜あまからひ												
浜辺にて子供さざめく西瓜割り												

自選句集 140

(入会順)

美佐子 美佐子 万里 万里 佳久子 佳久子 容子 容子 春代 春代 なをみ なをみ 勝義 勝義 ヨシ ヨシ

日本人会フランス語講座 2022年9月～12月

月曜		火曜		水曜		木曜		金曜	
9:45-12:00 入門_1 NEW! 1 Florence	9:45-12:00 入門_4 4 Laurent	9:45-12:00 入門_1 NEW! 8 Marine	9:45-12:00 入門_3 10 Laurent	9:45-12:00 入門_1 NEW! 14 Laurent		9:45-12:00 入門_4 16 Laurent	9:45-12:00 会話入門 NEW! 24 Florence		9:45-12:00 会話A2 20 Muriel
12:30-14:45 A2 2 Florence	11:00-13h30 (15分の休憩含) 会話 B2+ 5 Muriel	12:30-14:00 A2+ mar/jeu 9 Muriel	13:00-15:15 会話入門 NEW! 11 Laurent		13:00-15h15 会話A2+ 17 Laurent	12:30-14:00 A2+ mar/jeu 9 Muriel		12:45-15:00 入門_2 18 Marine	
15:00-17:15 会話入門 NEW! 28 Florence									
	17:15-18:45 DALF C1 6 Muriel		17:15-18:45 DALF B2 12 Muriel		17:15-18:45 DALF B1 15 Muriel		17:15-18:45 DALF A2 19 Muriel		17:00-17:45 キッズ1 22 17:55-18:40 キッズ2 23 Laurent
19:00-20:30 入門_1 NEW! 3 Laurent	19:00-20:30 A1/A2 月/水 7 Muriel		19:00-20:30 A2 火/木 13 Muriel	19:00-20:30 A1/A2 月/水 7 Muriel	19:00-20:30 入門_3 26 Laurent	19:00-20:30 入門_1 NEW! 21 Laurent	19:00-20:30 A2 火/木 13 Muriel		

Skype	日本人会 教室
-------	------------

- 日本人会のフランス語講座はこれまでフランス語を勉強したことのない方向けのクラス入門_1から、DALF C1受験用の上級者クラスまでレベルに合わせてお選びいただけます。
- 楽しい雰囲気の中で学習できる「教室クラス(上記時間割中オレンジ)」と忙しい方などが移動せずに授業を受けられる「オンラインクラス(上記時間割中ホワイト)」があります。教室クラスは定員8名、オンラインクラスは定員6名。少人数で効果的に学習していただけます。
- 先生は日本人の弱点を知り、日本人への指導方法に精通した講師が揃っています。
- 入門クラスの先生は皆日本語も話されますので、初めての方でも無理なく授業を受けていただけます。
- DALF/DALF対策講座は Muriel NAVARRO講師 (DALF認定官) による試験対策講座 (C1、B2、B1、A2)。一般の語学学校では不可能な、日本人が間違えやすい点を徹底指導。合格率100%を誇ります。
- DALF/DALFのクラスはお試し受講であっても受講前にレベルテストを受けていただけます。
- お一人2クラスまでお話し受講していただけます(教室クラスは1クラスまで)。
- 途中入校もできますので、お問い合わせください。
- 途中入校の場合は、お話し受講後は回数割でのお支払いとなります。回数割は前回前納一括より15%割高になりますことご了承ください。
- 日本人会フランス語講座の受講は日本人会会員に限ります。
- 各クラスのレベルに関するご質問、お問い合わせは日本人会事務局までお気軽にお電話ください。

フランス語レベル目安 は以下のリンクよりご覧ください。
https://zaifutsunihonjinkai.fr/wp-content/uploads/2022/06/2022_SEP_niveaux_francais.pdf

日本人の特徴を知り尽くした講師陣による授業
 Mme Florence MEHRVAR
 Mme Marine VALLE
 Mme Muriel NAVARRO
 M Laurent LOYER

料金表と授業のスケジュールは下記リンクよりご覧ください。
<https://zaifutsunihonjinkai.fr/non-category/post-72248/>

問合せ・申込：
 Tel. 01 47 23 33 58
 contact@nihonjinkai.fr

目次

Fête du Japon <希望祭>開催	1	日本人会「川柳パリ会」	8
特集・フランスにおける妊娠・出産	2	日本の四季のレシピをフランスで	8
パリ日本文化会館事業案内	3-5	終(つい)のデザインのススメ	9
希望祭のあゆみ	5	フランス生活養生訓 第9回	9
補習校だより	5	クーブランのクラヴサン選集について	10
舞台裏より愛をこめて	6	グローバル時代のコミュニケーション	10
フランス人物伝 <6>	6	場所と人の出会い <41>	11
日本人会活動案内	7	ふらんす俳句会	11
		日本人会フランス語講座	12

日本人会会報 Journal Japon
 年6回発行：第47巻5号 (通巻297号)
 発行人 片川 喜代治
 編集人 高橋 幸隆
 レイアウト 杉山 清美
 発行 在仏日本人会
 Association des Japonais en France
 (旧) Association amicale des ressortissants japonais en France
 9, Av. Marceau 75116 Paris
 TEL: 01-47-23-33-58
 月～金 du lundi au vendredi 9:30-12:30 / 13:30-17:30
www.zaifutsunihonjinkai.fr contact@nihonjinkai.fr
 *サイト内「会報」「お知らせ」のバックナンバーを閲覧する際のパスワード：heian2020
 *本誌の無断転載を禁じます